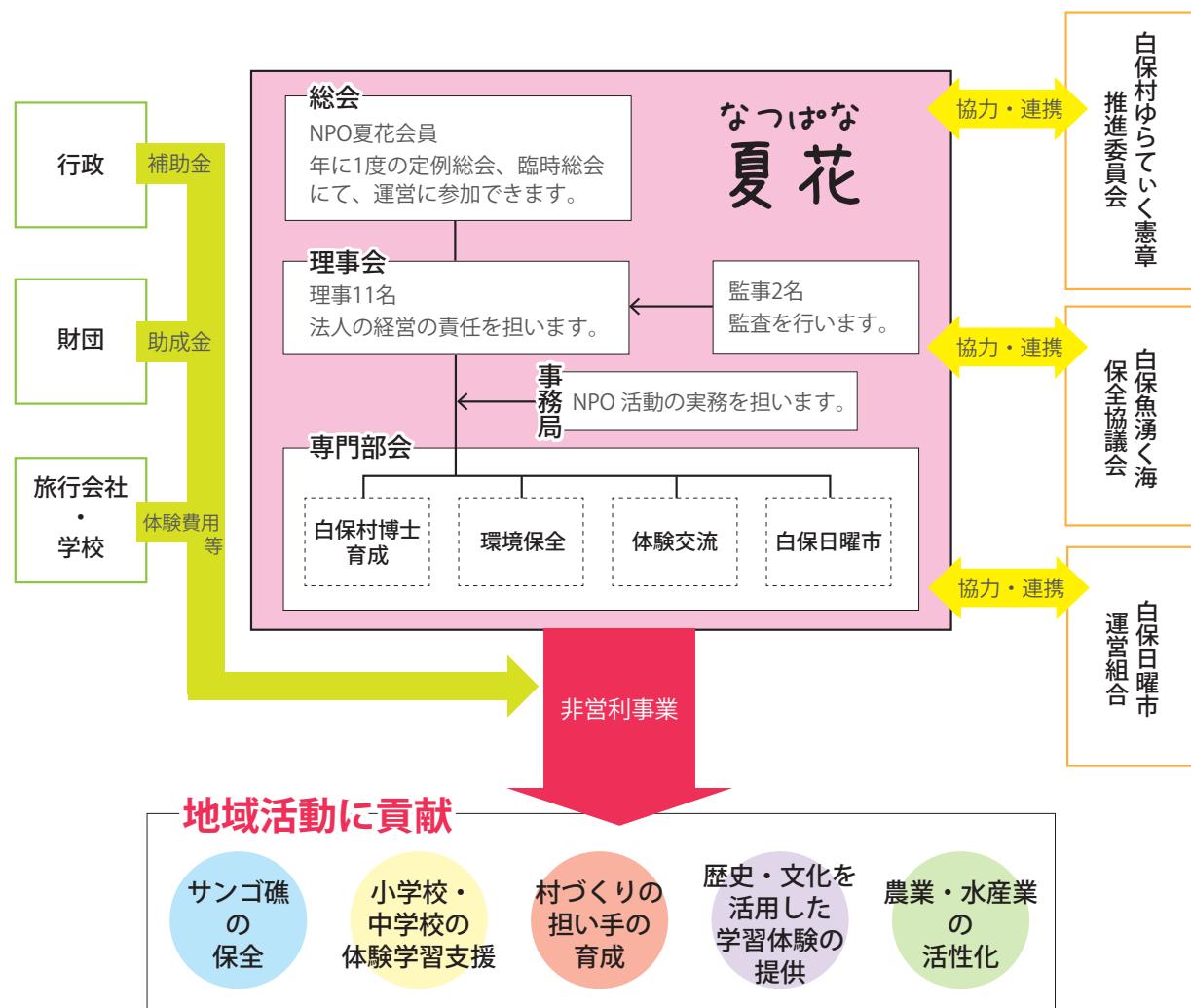


NPO夏花(なつぱな)は、白保村ゆらていく憲章の七箇条に基づき、白保集落の伝統文化、自然環境の保全・継承、地域の活性化などの村づくりに取り組むことを目的に、2013年5月に設立されたNPOです。



NPO活動の仕組み



夏花はこんな活動に取り組んでいます。

白保村博士育成



歴史、文化、自然など、白保のことに詳しい白保村博士を育成し体験学習に取り組めます。

環境保全



グリーンベルトの設置や環境を保全する商品の開発など、赤土の流出をくいとめる活動を行います。

体験交流



農業体験や民泊など交流事業の受け入れを通じて地域の活性化を図ります。

白保日曜市



農産物や水産物、郷土料理、工芸品等の直売を行う白保日曜市の支援を行います。

NPO夏花協力者の募集！

夏花では、農作業などの白保の暮らし体験や、民泊の受け入れを行っています。そこで、農地の周囲へのグリーンベルトの植え付け（月桃、糸芭蕉、ハイビスカスなど）に畑を提供していただける方や、民泊を受け入れてくれる方を募集しています。協力いただける方は、下記までご連絡ください。



NPO夏花事務局/池間 大斗 : 080-8553-8848
理事(赤土対策担当)/多宇 辰雄 : 090-3719-8948
理事(農家民泊担当)/美里 清矩 : 090-8292-9314

NPO法人夏花メンバー紹介

応援よろしく
お願いします！



理事長:花城 芳蔵

2010年度公民館長を務めた後、2011年4月からは白保村ゆらていく憲章推進委員会の委員長として村づくりに取り組んできました。その中で、白保の課題もわかってきました。白保ゆらていく憲章推進委員会が中心となり、白保日曜市運営組合、白保魚湧く海保全協議会等が連携し、村づくりに取り組むために設立したのが「夏花」です。まずはサンゴ礁の保全に取り組んでいきたいと考えています。応援・協力よろしくお願いします。



事務局:池間 大斗

4月からNPO法人の事務局をしています。白保中57期生で、沖縄国際大学で環境関係を専攻していました。地元である白保で、サンゴ礁保全活動や、地域活性化に力を入れています。また、行事にも参加することで先輩や後輩の方々とコミュニケーションを取りながら夏花の活動を知ってもらい、地域の方々と連携しながら頑張っていきたいと思っています。



事務局:鈴木 咲子

白保中52期生で、小さな頃から白保の海が大好きでした。高校を卒業し県外で10年暮らしていた頃も、この海がずっと誇りでした。しかし、昨年末に島に帰って来て、以前と変わってしまった海を目の当たりにしました。美しい海がこの先もずっとあり続けること、そのために何かしたいと思い、夏花にいます。現在は主に経理を担当していますが、これからはイベント業務にも従事し、白保の皆さんと一緒に楽しく活動できたらと思っています。皆さん、よろしくお願いします。

2013年7月～2014年6月までの主な活動報告

1 記者会見しました

9月26日に、特定非営利活動法人夏花の設立、活動内容や設立目的等の記者会見を行いました。



記者会見の様子



八重山毎日新聞
2013年9月27日

2 小学校、中学校の環境学習に協力

夏花では、白保の次世代を担う小学校の保全育成に協力する為、自然・文化体験学習の講師育成・派遣を行っています。

平成25年度には白保小学校5年生の赤土調査、6年生のシュノーケリングによるサンゴ観察を行いました。また、中学校2年生のサンゴの健康状態の調査とギーラの成長記録などを実施しました。他にも、赤土流出防止グリーンベルト植栽を実施し、サンゴ水槽を使ったパネル発表会も行いました。成果は、沖縄大学ジュニア研究発表会で発表しています。

平成26年度には、5年生と全国一斉水質調査に参加。6年生は人とサンゴの関わりについてのサンゴレクチャーを実施し、中学校2年生は海の危険生物のレクチャーを行いました。



白保小シュノーケル



サンゴ健康調査



海底の砂を採取



赤土の量を分析

3 赤土調査やってます

2000年から年4回しらほサンゴ村で行われ、2011年11月から魚湧く海保全協議会に引き継がれた白保海域(27地点)での赤土の堆積調査が、2014年1月からNPO夏花の事業となりました。同調査には、地元白保集落の漁業者、観光事業者の他、環境省石垣自然保護官事務所職員や京都大学、東京大学の学生も参加し、多様な参加者による調査を実施しています。轟川河口付近では、人為的な影響によりサンゴに影響がある地点が毎回見られることから、グリーンベルト植栽や緑被植物の植え付け、株だしへの転換などの対策が求められます。

4 研修、学習旅行の受け入れ

白保魚湧く海保全協議会など地域を挙げたサンゴ礁保全の取り組みが全国で注目されています。夏花では、人と自然が調和して暮らすための学びの場を提供するため、さまざまな研修、学習旅行の受け入れを行っています。

2013年8月にはアメリカ、スイス、ドイツ、日本各地からの研究者のツアーを受け入れ、海垣や日曜市、ギーラ放流の活動紹介を行いました。10月からはクラブメットの八重山自然体験ツアーを受け入れ、サンゴ学習と白保集落散策を3月までほぼ毎週実施しました。3月からは、HISのサンゴ礁保全と島文化を学ぶツアーの受け入れを開始。サンゴに関する正しい知識を持ってもらうための講義や、サンゴ保全のためのグリーンベルト植栽に参加してもらうことで、地域の保全活動促進の一助にもなっています。白保の家庭でのホームステイはツアーの目玉で、農作業も体験してもらいました。参加者には大変好評で、HIS側から毎月開催の要望がありました。

今後、雨天時の体験活動の確立、ホームステイ受け入れ家庭の拡大、月桃植え協力農家を確保することが課題になっています。

ホームステイ受け入れ、月桃植え協力農家募集中!

詳しくは裏面をご覧ください



金嶺家でゆんたく



月桃植え



農家体験

いろいろ活動しました



◆主な活動日程◆

7/16	夏花年間計画打ち合わせ	12/20	NPO法人夏花 拡大理事会
7/26	しらほこどもクラブ 夏休み工作作り	12/24	白保中学校2年生 サンゴ水槽パネル発表
7/26～28	地域環境知プロジェクトツアー受け入れ	12/27～29	しらほこどもクラブ 風つくり
8/24	しらほこどもクラブ 草木染め	1/13	しらほこどもクラブ 餅つき、風あげ大会
8/31	法政大学白保村エコツアー	1/16	NPO法人夏花研修会
9/3	白保中学校2年生水槽見学	1/18	HISツアー説明会(東京)
9/6	白保小学校5年生 赤土調査	1/22	研修会 竹富島での活動や運営について
9/8	沖縄大学 フィールドワーク(プログラム作成)	3/1	サンゴウィーク月桃植え
9/9	白保小学校6年生 シュノーケル観察会	3/23～26	HISツアー受け入れ
9/15～16	しらほこどもクラブ やまんぐうキャンプ	4/27～30	HISツアー受け入れ
9/19	白保中学校2年生サンゴ、ギーラの調査	5/10～11	住友生命ツアー受け入れ
10/15	白保中学校2年生サンゴ水槽授業	6/5	東京ワールドアカデミー+(プラス)出席
10/23	駒澤大学地理学科・石垣島巡検ツアー受け入れ	6/8	しらほこどもクラブ結団式
10/28	白保小総合学習 (沖縄大学こども文化学科学生による授業)	6/10	白保小学校5年生 全国一斉水質調査
11/13～14	八重山高校職場実習体験受入	6/17	白保小学校6年生 サンゴレクチャー
11/22	名蔵中学校サンゴレクチャー	6/21	環境省 水難救助員座学、レクチャー受講
11/28	東京農業大学食料環境経済学科グリーンベルト植栽	6/24	白保中学校2年生 危険生物レクチャー
12/11	白保中学校グリーンベルト植栽	6/25	白保小学校6年生 シュノーケル練習
12/12	日本サンゴ礁学会参加	6/29	修学旅行生 サンゴ講習